京都外国語大学ラテンアメリカ研究センター主催
2025 年　第 23 回ラテンアメリカ教養講座

# 日本とラテンアメリカの絆：35 年の歩みを振り返って

日時：２０２５年６月１３日より毎週金曜日（全４回）18：00～19：30
会場：京都外国語大学 1 号館 7 階小ホール/9 号館 7 階インターナショナルホール
後援：京都ラテンアメリカ文化協会
※申込不要・入場無料

日本とラテンアメリカは、人的交流を通じて密接な関係を築いてきました。主なトピックには、移住、ビジネス、ラテン音楽の人気、日系人の日本への還流があります。本講座では、1990 年の入管法改正以降の日本とラテンアメリカの関係に焦点を当て、日系人の動向や関連問題、日本とラテン音楽との関係、将来の展望について、多様な専門家を招いて、刺激的なシリーズ講座を提供します。

**第１回　６月１３日（金）**　会場：１号館 7 階小ホール
**「日系人の来日と日本社会の変化」**
伊藤秋仁（京都外国語大学 ラテンアメリカ研究センター長／ブラジルポルトガル語学科教授）

1990 年に入管法が改正され、多くの日系人が来日し、居住するようになりました。日本社会は外国人移民を受け入れないという建前の下で「日系人」を受け入れましたが、彼らの多くはラテンアメリカにルーツを持つ外国人にほかなりません。この 35 年の来し方を解説します。

**第２回　６月２０日（金）**　会場：１号館 7 階小ホール
**「日本で暮らすブラジルルーツの若者たち：伴走と対話の現場から見えてくること」**
北川ペドロソ実萌（特定非営利活動法人 immi lab（イミラボ）代表理事）

移民ルーツの若者のレジリエンス育成事業「プロジェクトポンテ」。進路の幅を広げ、日本社会との対話機会を作り、滋賀県を中心に活動しています。本講演では、現場から見える課題と可能性、移民と共に成長する関係性やその未来について話します。

**第３回　６月２７日（金）**　会場：９号館 7 階インターナショナルホール
**「音楽は世界をつなぐ」**（レクチャーと演奏）
フローレスデュオ（フレディ・フローレス、ヘスス・フローレス）

日本にやって来て 30 年あまり、ペルーの音楽を中心に、ラテン音楽、民族音楽（フォルクローレ）日本での人の交わりのなかから生まれたオリジナル曲も演奏してきました。そのなかで確信した、国や言葉は違っても人の心の奥底に流れる大切なものについて伝えたいと思います。

**第４回　７月４日（金）**　会場：１号館 7 階小ホール
**「わたしも（あなたも）あそこにいたかもしれない～日系移民のコミュニティを巡りながら考えたこと」**
神里雄大（劇作家、舞台演出家）

わたしはペルーの首都で生まれ、生後半年で日本にやってきた。物心がついたときには神奈川県に住んでいた。32 歳のとき 20 年ぶりにペルーに行き、「オキナワまつり」を見たとき、自分もあのステージに上がっていたかも、と思った。そんな可能性の話をしたいと思う。

●お問い合わせ●
京都外国語大学ラテンアメリカ研究センター
〒615-8558　京都市右京区西院笠目町 6
TEL: 075-925-6853　E-mail: ielak@kufs.ac.jp
https://www.kufs.ac.jp/ielak/index.html

申込不要
入場無料

京都外国語大学
ラテンアメリカ研究センター主催

第23回 ラテンアメリカ教養講座

# 日本とラテンアメリカの絆

## 35年の歩みを振り返って

日時
2025年
6月13日~7月4日
18:00~19:30
全4回 毎週金曜日

## 第1回 6月13日 金

会場：京都外国語大学１号館７階小ホール

### 日系人の来日と日本社会の変化

**伊藤秋仁** 京都外国語大学 ラテンアメリカ研究センター長／ブラジルポルトガル語学科教授

京都外国語大学ブラジルポルトガル語学科教授。専門はブラジル移民史。主要業績に『ブラジル国家の形成』（共著、晃洋書房、2015 年）、エドワード・E・テルズ『ブラジルの人種的不平等』（共訳、明石書店、2011 年）、ドラウジオ・ヴァレーラ『カランヂル駅――ブラジル最大の刑務所における囚人たちの生態』（翻訳、春風社、2021 年）

## 第2回 6月20日 金

会場：京都外国語大学１号館７階小ホール

### 日本で暮らすブラジルルーツの若者たち：伴走と対話の現場から見えてくること

**北川ペドロソ実萌** 特定非営利活動法人 immi lab（イミラボ）代表理事

13 年間米国で暮らした経験から移民特有の生きづらさを感じ、在日移民の現状に何かしたいと immi lab を立ち上げる。移民ルーツの若者のレジリエンスを育てる伴走事業「プロジェクトポンテ」や、マジョリティの意識変化のための講演活動などを行う。専門は参加型デザインと質的調査で、前職ではエチオピアやブラジルでの国際保健分野の現場リサーチと戦略策定を担当。マサチューセッツ工科大学機械工学部卒。日本ルーツ京都育ち。夫と息子と犬と京都で暮らす。

プロジェクトポンテのイベントの様子

## 第3回 6月27日 金

会場：京都外国語大学９号館
７階インターナショナルホール

### 音楽は世界をつなぐ

**フローレスデュオ** フレディ・フローレス、ヘスス・フローレス

日本におけるラテン・フォルクローレ テイストのパイオニア的「フローレス・兄弟」によるアコースティックユニット。ペルーの古都クスコ出身。1990 年代に来日後、大阪府豊中市を拠点に日本各地で南米の伝統音楽・フォルクローレのコンサートを開催してきた。躍動感のある独特のリズムと叙情あふれるハーモニーが、世代や国境を問わず、聞く人を魅了する。

## 第4回 7月4日 金

会場：京都外国語大学１号館７階小ホール

### わたしも（あなたも）あそこにいたかもしれない
～日系移民のコミュニティを巡りながら考えたこと

**神里雄大** 劇作家、舞台演出家

各地を訪問し採集したエピソードを元に、移動し越境する人々をテーマにした作品を発表している。国内外の演劇フェスティバルへ招聘多数。
2006年『しっぽをつかまれた欲望』（作：パブロ＝ピカソ）で利賀演出家コンクール最優秀演出家賞受賞。2018 年『バルパライソの長い坂をくだる話』で第 62 回岸田國士戯曲賞を受賞。2016年 10 月より文化庁新進芸術家海外研修制度研修員としてアルゼンチン・ブエノスアイレスに１年間滞在。2022年、2023年度公益財団法人セゾン文化財団セゾン・フェロー II。

『バルパライソの長い坂をくだる話』（2017 年）撮影：井上嘉和


お問い合わせ 京都外国語大学ラテンアメリカ研究センター
〒615-8558 京都市右京区西院笠目町6
TEL: 075-925-6853 E-mail: ielak@kufs.ac.jp http://www.kufs.ac.jp/ielak/index.html



後援：京都ラテンアメリカ文化協会